

「広島神楽」定期公演へようこそ!

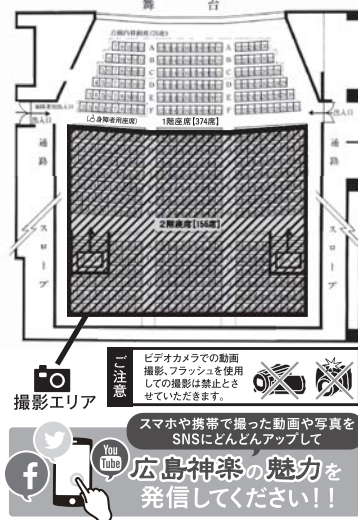
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



8月29日のタイムスケジュール

出演：飯室神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『山姥』

（およそ40分）

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『八岐大蛇』

（およそ40分）

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。

本日の記念には是非ご参加下さい。

また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。

（舞台へは靴を脱いでお上がりください。）

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

いむろかぐらだん

飯室神楽団プロフィール ～広島市安佐北区～

当神楽団は土井泉神社を守護神として、昭和57年に飯室神楽同好会として発足しました。山県舞（矢上系六調子）、高田舞（阿須那系八調子）の流派の異なる両舞を伝承しております。神社例大祭はもとより、競演（共演）大会、県内外のイベントや等にも出演させて頂く機会に恵まれ、微力ながら花を添えております。伝統ある郷土芸能を古き先人より学び「情感」ある神楽を目指しています。我々の神楽が皆様方の生きたエネルギーとなればと願う所存でございます。若者の後継者としての育成に努め、地域に根ざし、人々の心の故郷となるよう団員一同努めてまいります。

何卒、温かいご声援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

第一幕『山姥』（やまうば）

院の北面の武士・坂田時行の妻は、夫が病に倒れた後に都を追われ、一子怪童丸と共に越後の国・上路山に流れ着き、世を呪い人を恨みながら、山賊の輩に身を落としていました。ある時、都において武名高き源頼光が東北の兇賊征伐の勅命を受け、後の四天王の一人渡辺綱を連れ越後の国に向かいます。道中、上路山に差し掛かった時に日が暮れ、人家の灯火を見つけ、険しい山路を分け入りて人家に辿り着き一夜の宿を求めます。しかし、その家こそ山姥の住家だったので。快く迎えられた頼光主従は、旅の疲れもあり奥の一間にて休んでいたその夜更け、怪童丸が足音忍ばせ頼光主従の部屋へ切り込みますが、寸前の所で勤付き頼光主従と山姥親子の戦いとなります。山姥は戦況不利になり、怪童丸が斬られそうになったその時、山姥は頼光に命乞いをし、戦った相手が天下に名高き源頼光と知った山姥は、素性知れたる一子怪童丸を家来の一人にして欲しいと懇願し、親心を汲み取った頼光は、怪童丸を親の名を一字取った坂田金時と改め、家来の一人に加えます。怪童丸との今生の別れに山姥は髪と身なりを整えて送り出し、頼光主従に別れを告げ安住の地を求めて上路山を去り、頼光、綱、金時は都へと立ち帰って行くという物語です。

【出演】	大太鼓 … 下田 勝行	源 頼 光 … 丸 本 哲也	山 姥 … 野 見 山 渉
	小太鼓 … 佐々木 俊一	渡 辺 綱 … 倉 頭 勇 太	怪 童 丸 … 湯 月 大 生
	手打鉦 … 日野 俊 希		
	笛 … 大西 菜 つみ		

第二幕『八岐大蛇』（やまたのおろち）

出雲の国に暮らす足名稚（あしなづち）・手名稚（てなづち）老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人まで娘を失いました。そしていよいよ八人目の娘が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の娘・奇稲田姫（くしいなだひめ）は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原（たかまがはら）から舞い降りた須佐乃男命（すさのおのみこと）が通りかかり、その訳を聞きます。

命は、大蛇退治を決め、老夫婦に八塩折（やしおり）の毒酒を造らせ酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた命は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。

大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲剣（あめのむらくものつるぎ）と名づけ、天照大神（あまてらすおおみかみ）に捧げます。そしてめでたく奇稲田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 下 田 勝 行	須佐之男命 … 野 見 山 渉	大 蛇 … 佐 々 木 俊 一	大 蛇 … 湯 月 大 生
	小太鼓 … 吉 村 公 司	稲 田 姫 … 石 崎 ひ と み	大 蛇 … 倉 頭 勇 太	大 蛇 … 丸 本 哲 也
	手打鉦 … 日野 俊 希	足 名 稚 … 大 畑 強		
	手打鉦 … 竹 田 一	手 名 稚 … 山 中 弘		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。